**Ｐ１**

**タイトル**

**Ｐ２**

**RI（国際ロータリー）の職業奉仕に対する考えはこの6年（2015年～2021年）間で激変しています。具体的には理念だけではなく行動する職業奉仕でロータリーの公共イメージを向上させるという方針です**

**Ｐ3**

**2015-2016年RI会長ラビンドラン氏の新方針によって、ロータリアン同士の物質的金銭的な相互扶助か認められるようになったため、長年ロータリー運動の精神的支柱であった「ロータリーの行動規範」のなかにあった「第８項：事業または専門職上の関係において、普通に得られない便宜ないし特典を同輩ロータリアンに求めないこと」が削除されました。2016年4月には会員増強の方針を会員発掘という言葉から会員の魅力によって新入会員をひきつけ絆を深めようという文章に変更されました。2020年にRIから出された職業奉仕の手引きです。2ページ目には職業奉仕から矢印がでていて６つの人道的分野のロゴがかかれていてそこから矢印が書かれていて平和とかかれています。職業奉仕が平和につながるとは日本的な職業奉仕論からは出てこない発想でしょう。つまり、RI は、職業奉仕は実践であり、特に自分自身の職業スキルや知識や才能をフルに使うことが職業奉仕活動と考えており、それによってロータリーの目指す世界理解平和が達成できると考えているようです。**

**Ｐ４**

**その背景には2016年の「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」という定款の追加があります。この追加から外向きの職業奉仕という言葉が生まれました。例えば、「ロータリーの友」を読んでいますとメキシコでは大工の会員が中心となって被災地に仮説住宅を建てたことも外向きの職業奉仕に含まれます。**

**Ｐ５**

**外向きの職業奉仕の事例として2020年9月24日に中之島朝日カルチャーセンターで行われました「変形性膝関節症･老人性難聴･口腔ケアとの付き合い方」と題した出前授業を紹介します。カルチャーセンターは講師料無料なら喜んで聴衆を集めてくれますし、スライドのようなカラーのビラを登録会員2000名に郵送してくれます。会場として朝日カルチャーセンターを選んだ理由は、授業の予定が自動的に朝日新聞紙面で紹介され、ロータリーの公共イメージ向上になると考えたからです。また通常で借りれば高価なフェスティバルビル18階の大教室を無料で提供してくれるからです。**

**Ｐ６**

**当日は７４名の受講者が集まりました。内容は、耳鼻咽喉科医でパストガバナーの高島会員が国際ロータリーとはいう話を15分しました。その後、戸田が１日半分のアボカドと筋トレでひざの痛みはラクになるという話を、耳鼻咽喉科医である栗山会員が耳の構造と難聴を話し、歯科医である金森会員が高齢者の歯のトリセツという話をして、最後に総合討論を行いました。**

**Ｐ７**

**しかし、１つのロータリークラブではレパートリーに限りがあります。そこで地区職業奉仕委員会に相談し、大阪東南RCを紹介してもらい、内科を加えた出前授業を共催することとしました。**

**Ｐ８**

**2022年4月28日　地区職業奉仕委員会が後援し、二つのロータリークラブによる高齢者向けの医療出前授業を開催しました。**

**Ｐ９**

**当日は６０分の講演の中で15分間、実に４分の１の時間をロータリーの公共イメージの向上のために費やしました。すなわち、大阪中之島RC北村譲会長から開会の挨拶「ロータリークラブについて」の説明があり、続いて2021-2022地区職業奉仕委員会上甲悌二委員長から「ロータリークラブの職業奉仕とは」の話を５分ずつしてもらいました。また、会の最後には大阪東南RC北村佳久会長から「ロータリークラブに興味をもってほしい」との内容の閉会の挨拶を５分してもらいました。**

**Ｐ１０**

**この出前授業に関するカルチャーセンターの利点は講師料が不要で、約3500円の会費を払って参加してくれる一定の客（ロータリアン）が確保される点です。受講者にとっては複数の講演を一度に聞けるという利点があります。ロータリークラブにとっては無料で新聞に掲載してくれて、会場費が無料でロータリークラブの宣伝ができるという得があり、近江商人の商売の心得である「三方よし」が実現できたと考えました。**

**Ｐ11**

**外向きの職業奉仕を行ったら、是非、意義ある奉仕賞に応募して下さい・意義ある奉仕賞はMy Rotaryから申込みいただくようにお願いします。**

**Ｐ12**

**応募資格は、地元の地域社会で実施されたものであること。例えば、東北の被災地ではなく、地元で行った事業が望ましいです。クラブ会員の50％以上が直接に参加すること。この点、大きなクラブより会員数が少ないクラブの方が有利です。地域社会重要な問題やニーズに取り組むこと。押し売りではなく、必要としている人に奉仕をすることが重要です。そして最も大事なことは、 地域社会でロータリーの公共イメージを向上することです。できれば、新聞記者に連絡したり、フォロワー数の多いインフルエンサーのSNSに投稿いただきますようにお願いします**

**Ｐ13**

**意義ある奉仕賞は2018-19年からできた新しい賞で地区ガバナーが選出します。外向きの職業奉仕に関するモチベーションを上げるためにも是非、ご応募下さい。**

**Ｐ14　公共イメージの向上って何をすれば良いのかとお悩みの方に１つ提案させていただきます。ロータリーは21億ドルの費用と無数のボランティア　　　　　　でポリオ撲滅運動に貢献してきましたが、世間ではあまりそれが認知されていません。ポリオの話を公共イメージ向上に活用されてはいかがでしょうか？2023年4月開催予定の地区職業奉仕委員会後援の出前授業では「整形外科ではポリオは昔の病気ではない」-ロータリークラブの取り組みも含めて-というお話をさせていただく予定です**

**Ｐ15**

**ご清聴有難うございました。**